

# りんご



放送大学 青森学習センター・八戸サテライトスペース

令和8年冬号

- 2 | 巻頭言: 島田先生
- 3 | “Professional Report”: 櫻田先生
- 4 | 公開講演会 & 学生団体行事レポート
- 6 | 2025-2 単位認定試験のご案内
- 8 | 2026-1 面接授業について
- 10 | 次学期へ向けての手続き
- 11 | 1・2・3・4月のスケジュール
- 12 | 事務室からのお知らせ



# 巻頭言

島田 透

客員教授（弘前大学教育学部・准教授）



昨年、日本人研究者が同時にノーベル賞を受賞するという、2015年以来の快挙に日本中が沸きました。一人は医学生理学賞を受賞された坂口志文先生、もう一人は化学賞を受賞された北川進先生です。坂口先生は「制御性T細胞」の発見で免疫学に革命をもたらし、北川先生は「金属有機構造体（MOF）」という革新的な多孔性材料を開発されました。とりわけ化学を専門とする私にとって、この受賞の知らせは非常にうれしいものでした。

北川先生の受賞決定後、日本化学会が主催した「世界一早いノーベル化学賞講演」をリモートで拝聴する機会に恵まれました。そこで語られたエピソードは、現代を生きる私たちにとってとても示唆に富むものでした。北川先生がMOF（先生は「多孔性配位高分子（PCP）」と呼んでいます）に着目したきっかけは、意外にも「待ち時間」にあったといいます。当時、先生は近畿大学に所属されており、結晶構造の計算を行うために、わざわざ京都大学へ大型計算機を借りに行っていました。計算結果が出るまでの「何もすることがない時間」、同行した学生と議論をする中で、物質そのものではなく、そこにある「何もない空間」に着目するという逆転の発想が生まれたのだそうです。

翻って、現代の私たちの生活はどうでしょうか。大学の自室にしながら、ネットワーク越しに他大学の大型計算機を使うことができ、かつてない利便性を手に入れました。しかしその反面、北川先生の発想の源泉となった「何もすることがない時間」は失われてしまったように思います。最近では「タイパ」という言葉が象徴するように、最短ルートで効率よく成果を得ることが正義とされる時代です。そこでは、じっくりと対象と向き合うことよりも、目に見える「結果」をいかに短時間で出すかが重視されています。北川先生が「何もすることがない時間」に「何もない空間」に着目し、世紀の発見をされたように、真に創造的なアイデアや深い洞察は、効率や合理性の追求だけでは辿り着けない場所にあるように思います。

そこで、私は今年、あえて「何もすることがない時間」を大切にしていきたいと考えています。情報が洪水のように押し寄せ、目まぐるしく変化する時代だからこそ、意識的に立ち止まり、ゆったりとした豊かな時間を積極的に作っていきたくと思っています。一見すると効率とは無縁に思えるこのような「余白」の中こそ、人生を彩る新しい発見や、未来を切り開く独創的な発想の種が眠っている—そんな期待を胸に、新しい一年を歩んでいきたいと思っています。

# Professional Report

櫻田 安志・客員教授（弘前大学教育学部・教授）

## 情報教育のこれまで、これから（1）

ここ数年で、情報教育のあり方は劇的に変化しました。かつてのように「コンピュータの操作方法」を覚えることよりも、現在では情報技術を使って「いかに問題を解決するか」が重視されています。今や多くの子供たちが一人一台の端末を持って学ぶ時代となりましたが、実はこうした教育の情報化への取り組みが、昭和の時代から始まっていたことはあまり知られていないかもしれません。

文部科学省の記録<sup>1)</sup>を紐解くと、すでに昭和40年代後半には高等学校の専門教育として情報処理教育が始まっています。また、昭和61年には「情報活用能力」という言葉が定義づけられ、学校教育での育成が提言されました。しかし、当時の記憶を振り返ってもあまり実感が湧かないという方も多いのではないのでしょうか。

近年、大きな転換点となったのは、平成29年から31年にかけて行われた学習指導要領の改訂<sup>2)</sup>です。この改訂によって、情報教育の隠れたテーマは「機器の操作」から「思考・創造」へと大きく舵を切りました。

具体的な変化を見てみましょう。小学校ではプログラミング教育が必修化されましたが、これはコードを書く技術そのものではなく、物事を論理的に組み立てる「プログラミング的思考」を養うことを目的としています。中学校の技術家庭科では、ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツを用いた問題解決の実習が行われるようになり、高等学校では新設された「情報I」によって、全ての生徒がプログラミングやデータ活用を学ぶことになりました。大学入試の教科に「情報」が加わったことも、教育現場に大きなインパクトを与えています。

こうした教育内容の変化と並行して、環境面でも「GIGAスクール構想」が進められ、小中高등학교での端末とネットワークの整備が一気に進みました。コロナ禍による遠隔授業の必要性も相まって、教育の情報化は当初の計画を上回るスピードで加速したと言えるでしょう。

現在、社会ではAIが大きなブームとなっていますが、次世代がそれを使いこなすための素地は、学校教育の中で着々と整いつつあるのです。

- 1) 学制百二十年史，文部科学省  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/hakusho/html/others/detail/1318326.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/others/detail/1318326.htm)  
(令和7年12月1日最終アクセス)
- 2) 平成29・30・31年改訂学習指導要領関連資料，文部科学省，  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/new-cs/1384662.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384662.htm)  
(令和7年12月1日最終アクセス)

# 公開講演会レポート

## 音楽の力で心も身体も

### リフレッシュ！

- 📌 講師：青森音楽療法研究会・理事長  
佐々木 純子 先生
- 📌 日時：2025年10月26日（日）
- 📌 場所：青森学習センター 多目的室（弘前市）

本講演会は、音楽が「癒し」だけでなく、体内リズム調整、脳への刺激、対人交流の促進など多様な心身への影響を持つことを、実体験（歌・体操・楽器など）を通じて楽しく学ぶことを目的として行われました。

参加者からは、「理論と体感を両立できた」「大好きな活動で楽しめた」との声が多く、音楽が癒しだけでなく不快感も与える多面性や、精神医学に基づく専門知識を得られたことで、「大変勉強になった」「今の自分に必要」と90分が短く感じられるほど楽しく学べたと高評価でした。



## 家庭・学校でできる応急処置の基礎と実践

- 📌 講師：弘前大学教育学部・助教  
清水 真由美 先生
- 📌 日時：2025年11月15日（土）
- 📌 場所：つがる市立図書館  
セミナー・学習室（つがる市）

本講演会は、ケガ、やけど、骨折、脱臼、熱中症など、緊急時に求められる応急処置の基礎知識と実践に焦点を当てて実施されました。参加者からは、「心地よく聞くことができた」「和やかに実践を兼ねて行えた」と意見をいただきました。



## 八戸サテライトスペース 文化祭

■開催日時 2025年11月15日（土）～16日（日） 両日 9:00～17:00 ■会場 ユートリー4階 研修室

今年も11月15日と16日の2日間にわたり文化祭を開催しました。放送大学関係者以外の一般参加者も含め、2日間で、のべ50名以上の方が参加してくれました。

今回の文化祭は第10回の節目となる回で、新企画は「怪しい占いコーナー」、「ミニライブ」、「まさこの健康管理室」の3つでした。

その他はいつもの学習相談、アカデミックカフェ（今回のテーマは文書の書き方）、マジックショー&レクチャー、写真や作品の展示、小山カフェです。

また、今回はいつもの広い会場を確保できなかったため、会場を2か所に分けての開催となりました。

今回の文化祭にもOB、OGの方が来てくださり、数年ぶりにお会いでき、休憩コーナーではお話が盛り上がりおりました。

「怪しい占いコーナー」は、既に見た目から怪しかったのですが、多くのお客さんが体験されておりました。また、数年ぶりに音楽系の「ミニライブ」がありました。その場でのリクエストに応じての選曲ということもあり、皆さん熱心に楽しまれておりました。

参加して下さった方々に感謝いたします。

ミステリーサークル 総長 上野 光弘



## 注目情報！

2025年10月より、放送大学の各学習センターでは、「キャッシュレス決済」となりました。今回は郵送で証明書の発行を希望する際の手続き方法について紹介します。※八戸サテライトスペースでは発行出来ませんので、青森学習センターへ「諸証明書交付願」を郵送願います。

- 手順1. 証明書発行には手数料(1通200円)が発生いたします。お支払いはメールを通して決済用URLから行われますので、発行を希望する際は連絡が付くメールアドレスを確認する必要があります。決済用メールを受け取りたいメールアドレスから青森学習センター宛(aomori.center@gmail.com)へ事前に依頼メールを送信してください。
- 手順2. 青森学習センターから返信が届きましたら、「諸証明書交付願」と「返信用封筒(長形3号・110円切手貼付・宛名記載)」を郵送してください。※3通以上など、発行枚数が多い場合は、返信用封筒に貼り付ける切手代が変動する場合がございますので、手順1にてお知らせください。
- 手順3. 交付願受領後、学習センターから決済手続き等の案内メールをお送りしますので、決済用URLにアクセスし、「キャッシュレス決済」を行ってください。
- 手順4. 入金を確認され次第、証明書を発行、返信用封筒に入れて発送いたします。お手元に届きましたら内容をよくご確認ください。

# －2025年度第2学期－ 単位認定試験のご案内

Web受験方式で実施します。(一部科目のみ郵送受験方式で実施します。)

- インターネットを通じて、試験期間中、いつでも自宅等から受験することができます。
- 「行政学講読(‘24)」、「正多面体と素数(‘21)」、「日本美術史の近代とその外部(‘18)」、「量子化学(‘19)」のみ、郵送受験方式(自宅等で答案を作成し、郵便で提出する方法)で実施します。

1科目50分の制限時間があります。(郵送受験科目除く)

- 受験開始ボタンを押すとカウントダウンが始まり、一度カウントダウンが始まった後は、受験画面を離れてもカウントダウンは進行します。(一時停止不可、1科目1回のみ受験可能)
- 提出ボタンを押さずに制限時間が経過した場合、制限時間経過時点の解答が自動提出されます。

「択一式」はクリック、「記述式」は文字入力により解答します。(郵送受験科目除く)

- 科目ごとに「択一式」「記述式」「(択一式と記述式の)併用式」のいずれかの形式で出題されます。
- 各科目の出題形式は「授業科目案内」に掲載しています。

Web単位認定試験体験版を公開しています。

- 体験版で、ログインから解答提出までの操作の流れを体験できます。
- 試験期間前までに、必ず体験版を操作しておいてください。

Web受験が困難な方は、申請すれば、学習センター等で受験することができます。

- ご自宅等にインターネット環境がない、またはパソコンの操作が困難等のご事情があり、Web受験が困難な方は、所定の期間内に申請を行うことで、学習センター等で受験することができます。

学習センター等での受験は事前申請済みの方が対象です。

- 「授業科目案内」およびシステムWAKABAに記載、またはセンターと日程調整を行った試験日・時限に来所し、学習センター等のパソコンをご自身で操作して、Web受験を行います。
- 試験を開始する前までは職員がパソコン操作をサポートできますが、試験開始後は、ご自身でパソコン操作をしていただきます。職員はサポートできませんのでご了承ください。

成績は2月下旬頃に通知します。

- 成績はシステムWAKABAおよび、大学本部から送付される「成績通知書」によって通知します。
- 評価は、A～Eの6段階になります。

合格				不合格	
Ⓐ	A	B	C	D	E
100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59～50点	49～0点

単位を修得出来なかった場合は、次学期に再試験を受験できます。

- 本学の学生の多くが有職者であることから、仕事の都合により受験の機会を逸したり、やむを得ず受験準備に必要な時間が取れなかった学生の利便を図るため、新規に科目登録した学期において、単位を修得出来なかった場合は、次の学期に学籍がある場合に限り(休学中の場合を除く)、次学期に再試験を受験できます。
- 再試験に係る授業料等はかかりません。

試験  
期間

■ 記述・併用式科目 / ▼ 郵送受験

01.18(日) 9:00 ▶ 01.22(木) 17:00

■ 択一式科目

01.18(日) 9:00 ▶ 01.26(月) 17:00



クリック

WAKABAトップページ右側の学内リンクより、Web単位認定試験をクリックして、専用ページの科目一覧から受験する科目を選択して、試験を開始します。

## 【放送大学】Web単位認定試験

リンク集

- ◎操作ガイド(必読)
- ・よくある質問
- ・不正行為について
- ・生成AIの使用禁止について

2025年度第2学期 日程

Web単位認定試験の利用期間

体験版開始	2025年 10月1日(水) 10時
単位認定試験期間	【記述式・併用式】2026年 1月18日(日) 9時～ 1月22日(木) 17時 【択一式】 2026年1月18日(日) 9時～ 1月26日(月) 17時
システム	

2025年度第2学期 単位認定試験

【お知らせ】過去のお知らせ

2025.10.01 「Web単位認定試験システム公開」のお知らせ

10月1日(水) 10時より、2025年度第2学期単位認定試験向けシステムを公開しました。2025年度第2学期単位認定試験を受験予定の方は、「Web単位認定試験体験版」により、解答提出までの操作及び受験予定の動作を、試験期間前までに必ず行ってください。

はじめに、画面左側の「リンク集」→「◎操作ガイド(必読)」から、操作ガイドをご確認ください。受験に際しては、受験票同封書類に記載の「単位認定試験受験に際しての注意事項」を必ずご確認ください。

「科目一覧」に受験科目が表示されない場合はこちら

科目一覧 **試験期間に入ると、科目一覧の下に受験可能な科目が表示されます。**



単位認定試験【択一式】：未提出(未送信)  
単位認定試験【記述式】：未提出(未送信)  
単位認定試験【併用式】：未提出(未送信)

## 注目情報!

成績通知書発送日は2月17日頃を予定していますが、到着を待つ科目登録申請を郵送すると申請期間内に到着しない恐れがあるため、システムWAKABA(2月13日頃)で成績を確認のうえ、システムWAKABAから科目登録申請を行うことを推奨いたします。

# 2026年度 第1学期 面接授業一覧

青森	2679434	4/18・19	「対人行動の心理学」 田名場 忍 (弘前大学教育学部・教授)	
青森	2679418	4/25・26	「西洋古代の医学と哲学・宗教」 今井 正浩 (弘前大学人文社会科学部・教授)	
八戸	2679523	4/25・26	「ものの表面の科学」 川本 清 (八戸工業大学基礎教育研究センター・教授)	
青森	2679442	5/9・10	「現代的課題と生涯学習」 浅田 豊 (青森県立保健大学健康科学部・准教授)	学習センター外
八戸	2679493	5/9・10	「中国語を学ぼうー入門編から」 楊 麗栄 (八戸学院大学地域経営学部・准教授)	
青森	2679221	5/16・17	「心理学実験2」 吉中 淳 (弘前大学教育学部・教授)	BYOD
八戸	2679507	5/16・17	「高齢者の健やかな暮らしを考える」 溝江 弓恵 (八戸学院大学健康医療学部・講師)	
青森	2679400	5/23・24	「生活空間情報の表現ーGIS入門」 川原 靖弘 (放送大学・教授)	BYOD
八戸	2679515	5/30・31	「社会を支える電力システム」 花田 一磨 (八戸工業大学工学部・准教授)	
青森	2679450	6/6・7	「戦争と平和ーその法と歴史」 小野 昇平 (青森県立保健大学健康科学部・准教授)	
八戸	2679183	6/6・7	「心理学実験1」 金地 美知彦 (八戸学院大学健康医療学部・准教授) 遠藤 光男 (八戸学院大学健康医療学部・教授)	BYOD
青森	2679469	6/13・14	「発掘が語る縄文文化」 永嶋 豊 (三内丸山遺跡センター保存活用課・課長)	学習センター外
八戸	2679531	6/13・14	「環境と生物ー種差海岸で考えるー」 田中 義幸 (八戸工業大学工学部・教授)	学習センター外
青森	2679426	6/20・21	「近代青森のあゆみとくらし」 北原 かな子 (青森中央学院大学看護学部・教授)	
青森	2679477	6/27・28	「アニメーションー誕生から現在」 石川 善朗 (放送大学青森学習センター・所長)	学習センター外
青森	2679485	7/4・5	「白神学ー白神の動物と植物」 中村 剛之 (弘前大学白神自然環境研究センター・教授) 山岸 洋貴 (弘前大学白神自然環境研究センター・准教授) 相馬 純 (弘前大学白神自然環境研究センター・助教)	学習センター外

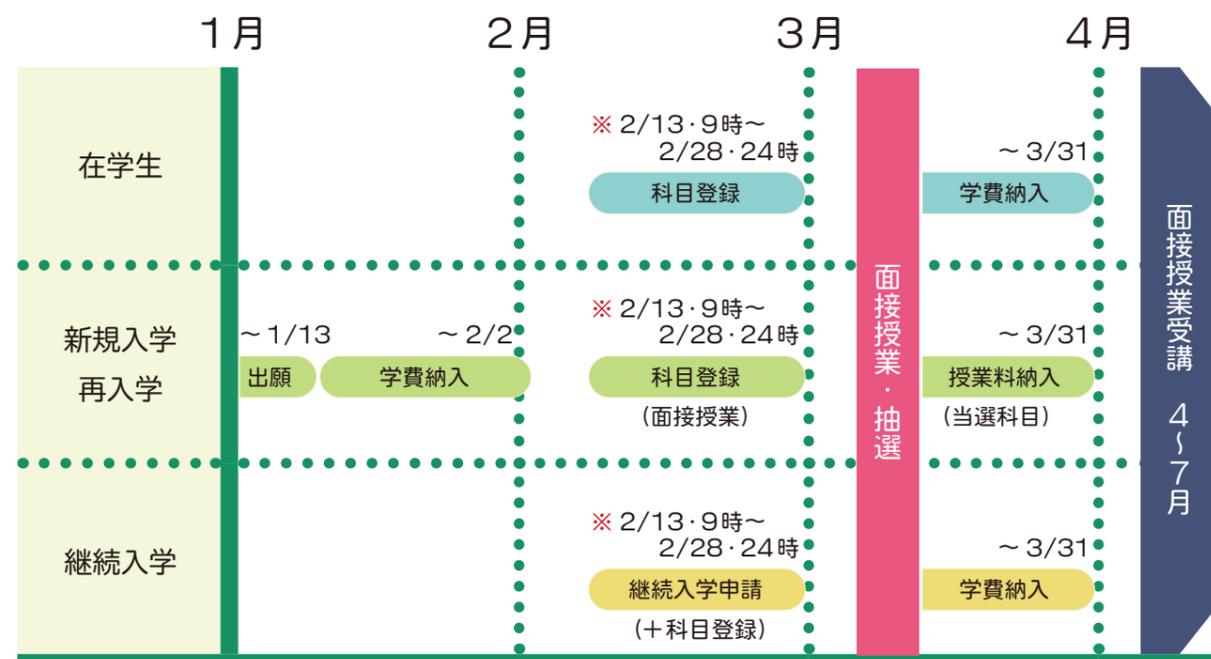
## 2026年度第1学期面接授業案内

「面接授業（スクーリング）」は、学習センター等で他の学生と一緒に教員から直接指導を受けます。

幅広い学問分野で、授業形態は通常の講義形式のほか、実験やフィールドワーク等多彩な形態で開講しています。

- ✓ 1科目1単位で、授業料は6,000円です。  
※放送授業は1科目2単位
- ✓ 全8回(90分×7回+45分×1回)の授業を受講し、成績評価は試験、レポート等により行われます。
- ✓ 全科履修生は、卒業要件として面接授業又はオンライン授業を20単位以上修得する必要があります。
- ✓ 選科履修生・科目履修生も履修が可能です。
- ✓ 全国で約8割の科目が土・日に開講されています。

### 4月からの面接授業科目登録方法



※システム WAKABA

# 次学期にむけての手続きについて

## ■次学期も学籍が続く方 → 科目登録申請が必要です。

申請期間	
システムWAKABA	2026年2月13日～28日
郵送（私書箱必着）	2026年2月13日～27日

- 申請期間の一月前に放送大学より送られてくる『科目登録申請要項』をよく読んで、次学期に履修する放送授業、面接授業、オンライン授業をご自身で登録してください。
- システムWAKABAからの申請は、必ず整理番号が表示されるまで続きを行ってください。
- システムWAKABAで科目登録申請を利用すると申請期間内であれば、登録科目の追加、取消ができます。
- ※ただし、すべて取り消すことはできませんので、その場合は大学本部【電話：043-276-5111（総合受付）】へ連絡してください。
- 全科履修生が、科目登録申請および授業料納入を4学期間（2年間）続けて行わない場合は除籍となります。

## ■3月末で学籍が切れる方 → 継続入学出願が必要です。

出願期間		
システムWAKABA 郵送（私書箱必着）	第1回	2025年11月26日～2026年2月27日
	第2回	2026年2月28日～2026年3月16日

- 必ず『学生募集要項』をよく読んで、成績を確認のうえ、出願手続きを行ってください。
- 郵送での出願を希望される場合、放送大学webサイトより資料請求のうえ、『出願票他提出書類セット』で希望する学生種の出願票を使用して手続きを行ってください。
- ※郵送による出願では面接授業・ライブWeb授業の登録申請はできません。
- システムWAKABAからの出願は、必ず整理番号が表示されるまで手続きを行ってください。
- システムWAKABAで出願すると選考前（ボタンをクリックできる間）に限り、登録科目など一部情報の変更ができます。選考後は変更できません。
- ※修正する・しないにかかわらず、最後の「登録」をクリックすると受付日も更新されますので注意してください。
- はじめて全科履修生に出願される方は、期間内に証明書類の郵送が必要です。

## ■卒業見込みの方

- 次学期も学籍が続く場合と、今学期で学籍が切れる場合では、手続きが異なります。
- 放送大学から送付される再入学のご案内、または「学生生活の葉」の「継続入学」のページにてご確認ください。

### システムWAKABAでの手続き

- 放送大学認証システム画面より、ログインID、パスワードを入力してログインしてください。

URL <https://www.wakaba.ouj.ac.jp/portal/>

放送大学ウェブサイト>在学生（WAKABA）>システムWAKABA

- 「教務情報」のタブをクリックし、「出願・科目登録申請」欄から必要な手続きを行ってください。



# 1月・2月・3月・4月のスケジュール

■ 閉所日   
 ■ 面接授業   
 ■ 単位認定試験   
 ■ 利用停止期間

感染症拡大や大雨・暴風雪・地震等発生で通学・通勤に危険が伴う可能性が高い場合は、臨時閉所、開所時間を変更することがあります。

1月	月	火	水	木	金	土	日
					1	2	3
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	

2月	月	火	水	木	金	土	日
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	

3月	月	火	水	木	金	土	日
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					

4月	月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3	4
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30			

1月	
～5日 日	年末年始の閉所日（12月29日 日～）
18日 日 26日 日	2025年度第2学期単位認定試験期間 ※科目によって締切が違いますのでご注意ください。

2月	
13日 木	2026年度第1学期科目登録申請 受付開始
27日 金	2026年度第1学期科目登録申請 《郵送締切》 2026年度第1学期出願・第1回目 締切 (教養学部、大学院・修士選科生/修士科目生)
28日 土	2026年度第1学期科目登録申請 《Web締切》 2026年度第1学期出願・第2回目 受付開始

3月	
16日 日	2026年度第1学期出願・第2回目 締切 (教養学部、大学院・修士選科生/修士科目生)
23日 日	マルチメディア視聴覚室・視聴学習室の利用停止（～31日 火）

4月	
4日 土 (青森)	2025年度第2学期学位記授与式
5日 日 (八戸)	2026年度第1学期入学者のつどい
17日 金	15時：面接授業空席発表 面接授業追加登録事前申請 受付開始
23日 木	面接授業追加登録先着申請 受付開始

面接授業	
18日 土 19日 日	対人行動の心理学（青森SC）
25日 土 26日 日	西洋古代の医学と哲学・宗教（青森SC） ものの表面の科学（八戸SS）

↑ 開所時間について ↓  
**9:30～17:30**

- ✓ 証明書発行等の窓口手続きは17:15まで
- ✓ 青森・マルチメディア視聴覚室の利用は17:00まで
- ✓ 12:15～13:00のお昼休憩時間確保にご協力をお願いいたします。



# 事務室からのお知らせ



## 閉所日 2 日制の導入について

放送大学本部において学習センターの学びの拠点としての効果的・効率的な運用等の在り方について検討を行ってまいりましたが、このたび「原則として、すべての学習センターで閉所日2日制を実施する」との全体方針が定められ、各学習センターの実情を踏まえ、令和7年4月以降、順次導入するよう指示がありました。

この全体方針に基づき、青森学習センター・八戸サテライトスペースでは、令和8年4月から下記のとおり閉所日2日制に移行することといたしました。

	月・火 閉所月	日・月 閉所月
1 学期 ▶	4・5・6・7	8・9
2 学期 ▶	10・11・12	1・2・3

※上記週2日のほか、祝日、振替休日、GW期間、夏季休業期間及び年末年始休業などの臨時閉所日がありますので、具体的な閉所日は、青森学習センターHPのセンタースケジュールをご確認ください。

## 2026年度第1学期入学生募集！ 出願期間：11/26(水)～3/16(月)

ご友人、ご家族・ご親戚、ご同僚など、皆様の周りに「学び」に関心のある方がいましたら、この機会にぜひ放送大学をご紹介ください。

口コミでどんどん学友の輪を広げましょう。もしかしたら、身近なあの人が4月にはともに学ぶ仲間になっているかも…？もちろん、継続入学生も大歓迎です！資料請求、体験学習・入学相談を随時承っております。お気軽に学習センターまたはサテライトスペースにお問い合わせください。

## 住所変更手続きについて

ご入学後、「現住所」「連絡先の電話番号」に変更があったときは、以下のいずれかの方法で速やかに『住所等変更届』を行ってください。また、「現住所」の変更は、最寄りの郵便局に「転居届」も必ず提出してください。

### 手続き方法

システム WAKABA : 教務情報→変更・異動手続から申請

郵送 : 「学生生活の葉」巻末の様式「住所等変更届」を学部・大学院それぞれの係へ提出

通信制大学にとって、郵便は「命綱」のようなものです。変更があった場合は必ず届出を行ってください。

青森学習センター

〒036-8003 青森県弘前市駅前町9-20 ヒロ口4階

☎:0172-38-0500 ☎(FAX):0172-38-1299 X:@aomoricenter

八戸サテライトスペース

〒039-1102 青森県八戸市一番町1-9-22 ユートリー4階

☎:0178-70-1663 ☎(FAX):0178-70-1667

青森学習センターあおもり校  
※視聴・貸出のみ対応

〒030-0801 青森県青森市新町1-3-7 青森市民図書館内(アウガ8階)

☎:017-776-2455 ☎(FAX):017-776-2400

放送大学ウェブサイト

<https://www.ouj.ac.jp/>

青森学習センターウェブサイト

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/aomori/>